

# 地域資源創成学部

Faculty of Regional Innovation



地域を創る  
リーダーになろう!

～自分と地域の将来のために、  
今、ここでマネジメント力を磨く～

「企画力」「実践力」の育成を図り、地域の活性化に不可欠な社会を牽引するイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、地域から要望が高い、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目指します。



地域資源創成学部長  
桑野 斉

我が国では人口減少・少子高齢化を背景にさまざまな課題が山積し、持続可能なまちづくりが困難になった地域が増大しています。このため、地域資源の積極的な活用を通じ、地域課題の有効な解決策を創出していくことが極めて重要なテーマになってきています。「地域資源創成学」は、こうしたテーマを総合的・学際的に研究する新たな学術分野であり、本学部では、地域が抱えるさまざまな課題解決に向け、新たなソリューションやイノベーションに関する研究を積極的に進めています。

この「地域資源創成学」には、異分野を融合し、学術と実務の垣根をこえた視点や取組が必要になります。このため本学部では、宮崎県内の地域社会や地方自治体と連携し、地域資源や地域課題の実態に即したダイナミックな教育プログラムを提供しています。地方創生や地域課題解決に関心・意欲・熱意をもった方に入学していただき、将来の地域を支える人材として、高い専門的能力を培っていただくことを期待しています。

## ■ 地域資源創成学部 各コース

2年後期から、以下の3つのコースに分かれ、それぞれのカリキュラムに沿った教育が行われます。

- 企業マネジメントコース
- 地域産業創出コース
- 地域創造コース

※各コースの説明は56ページ





今日、我が国の地域社会は、少子高齢化・人口減少、グローバル化、さらには地方分権の進展と厳しい財政状況等様々な課題に直面しています。特に、少子高齢化が加速度的に進行する中山間地域を抱え、後継者不足や若者の県外流出、グローバル化に伴う産業間競争の激化により地域社会経済全体が衰退傾向にある宮崎県などの地域では、持続可能な地域創成と地域産業の振興に向け、地域資源を経済的価値に転換できる仕組みや、国内外市場の開拓やリンケージ構築、地域活動の有機的連結とその活性化を実現できる人材の存在が強く望まれています。

地域資源創成学部では、マネジメントの専門知識と社会・人文科学、及び農学・工学分野の利活用技術の基礎知識を教授する異分野融合のカリキュラムを構築するとともに、研究者教員と実務家教員とが協働した実践的教育、宮崎県全域をフィールドとした実習や国内・海外インターンシップによる地域の方々と一体となった協働教育を導入します。

### ■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。

#### (求める学生像)

地域資源創成学部では地域振興に対して熱意(学問への関心)を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力(知識・技能)を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。

### ■卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

地域資源創成学部は、宮崎大学学務規則に規定する修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、以下の素養を身につけ、かつ、卒業研究の審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士(地域資源創成学)の学位を与えます。

1. 地域資源創成のために必要なマネジメントの専門知識を有している。
2. 地域資源創成のために必要な社会・人文科学、及び農学・工学の利活用技術の基礎知識を有し、複眼的な視野から地域資源の価値を捉えることができる。
3. 人々と広く協働し、地域の資源や状況をよく理解・分析することで問題解決に導けるコミュニケーション力、理解力を有している。
4. 以下のいずれかの人材養成像に対応した、地域資源を活用し、新たな価値を創成する企画力・実践力を有している。

- 企業マネジメントコース Business Management Course
- 地域産業創出コース Regional Industry Creation Course
- 地域創造コース Regional Management and Development Course



地域理解実習(青島)



地域探索実習Ⅰ(日之影)



地域探索実習Ⅱ(都城)

# 地域資源創成学科



Department of Regional Innovation

経営の視点をもって地域を持続的に発展させる方法を考え、実践できる人材を育てます。そのために、法学・経済学・社会学・農学・工学などの幅広い学びを提供して、より地域を深く理解し、革新的な価値を創出できる教育を行います。さらに実践力を鍛えるために、地域での実践を行う実習を数多く用意しています。

座学だけでなく、地域に出る機会も地域の課題解決や経営まで幅広く学べる。

地域資源創成学科 4年

小金丸拓哉 Takuya Koganemaru  
福岡県 九州産業高校出身  
(地域創造コース)

地域資源創成学科 4年

荒田芽依 Mei Arata  
鹿児島県 出水高校出身  
(企業マネジメントコース)

地域資源創成学科 4年

天神美胡 Miku Tenjin  
宮崎県 宮崎南高校出身  
(地域産業創出コース)

地域に出て、実際に足で歩いて五感を使って学ぶフィールドワークがあるのが本学部の特徴。荒田さんは「実家が自営業で、将来を考えて経営を学びたいと思ったし、幅広い分野の講師陣がいるから、専門の方向転換もしやすい」と話します。また、観光に興味があるという天神さんは「地元の当たり前だと思っていた魅力を授業やフィールドワークを通じて再発見できるのがこの学部ならではの」と教えてくれました。小金丸さんは「研究室では自分の知識以上の高度な分野を扱える。自分を高めるスキルを大学時代に身に着けたい」と意欲を燃やします。地域の良さや課題を探求し、解決への提案や活動もできる。将来を見据えた学びをここでしてみませんか。





## 地域資源創成学部 養成する人材像

### ■企業マネジメントコース

国内外の産業経済構造を俯瞰的に捉え、地域の社会経済状況を調査・分析し、その知見をもって、国内市場や海外市場の開拓やリネーシング構築、企業誘致、起業等、地域経済の発展に向け、既存の産業に新たな価値創造（イノベーション）を引き起こし、地域の産業振興に寄与する次世代のビジネスリーダーを養成する。

### ■地域産業創出コース

地域資源（農業・自然・文化等）の価値を理解し、地域資源を活用した新商品の企画、ビジネスの新展開、様々な切り口からの地域資源の魅力発信等を通じて地域資源に新たな価値を見出し、6次産業化や観光等の地域の産業創出につなげることができる人材を養成する。

### ■地域創造コース

中山間地域における過疎・高齢化、中心市街地衰退等の課題解決や、地域社会の維持発展に向けて、地域における住民の組織やネットワーク、行政制度等について理解するとともに、地方都市・農山村の経済機能、社会機能、環境機能を総合的に捉え、地域活動を有機的に連結し、活性化できる持続可能な地域づくりをトータルマネジメントできる人材を養成する。

## 多様な視点を持てる人に！

地域資源創成学科 准教授 **福島三穂子**  
Mihoko Fukushima

地域資源創成学部では、地域資源の価値に気づき、地域活性化を企画・実践できる人材の育成を目指しています。地域社会には様々な資源がありますが、例えばコミュニケーションの研究の視点から見ると、地域の人々の相互行為も地域資源と捉えることができます。社会に生活する人々の日常は、自分を理解して貰う、他者を理解するというやりとりを通じて成り立っていると考えられるからです。世界中のどの地域がフィールドであっても、人と人の結びつきに目を向け、多様な価値観を持った人々の相互行為の現場を観察・分析する方法を学ぶことで、今まで気がつかなかった社会の仕組みを理解できるようになります。地域学部での学びを通して沢山の新しい視点を手に入れましょう！



Message

KOKOCHU  
ココに  
注目！

### 「伝承」からのアプローチで 地域の総合デザインを拓く！

次代型の地域づくりのためには、今、何が必要とされているのでしょうか？これまで地域づくりの進展をはかる尺度は量的成長、即ち「経済成長率」でした。しかしその一方で、成長を推し進めた1970年代より「生活の質」論が高まり、「豊かさの中の貧困」が、さらには「生きづらさ」が課題となり続け、究極的には自然と人間の存亡に関わる問題となっています。

そこに欠けていた視点とは何か。それが「伝承」です。伝承は工業経済体制を導入する以前の人々が地域存在と共に生きることの全体を形づくる社会・文化的なシステムでした。

地域資源創成学研究科は「伝承」からの地域づくりを見据え、地域と機関のプラットフォームとなる地域資源情報活用センター

を創設しました。センターを通じて地域づくり・人づくりに不可欠な「伝承」の力を再発見していきましょう。



ウェブサイト「みやざき伝承プラットフォーム」

### ■卒業後の進路

地方公務員（県庁、市町村役場）、国家公務員、IT業界、放送局、運輸業（航空業界、高速道路等）、電気・ガス・水道業、卸・小売業、製造業（食品・飲料、繊維、化学工業、自動車部品等）、団体職員、生活関連サービス業、大学職員、教育・学習支援業、金融業、不動産業、複合サービス業、専門技術サービス業（土業、コンサルタント業等）、建設業、進学など